



2019年
2月
中国四国農政局
高知県拠点

農福連携の事例紹介

安芸市・日高村

写真提供 日高わのわ会・高知県安芸福祉保健所

高知県内で『農福連携』の取り組みがなされている、安芸市と日高村の2事例を紹介します。

高知県安芸福祉保健所（安芸市）

高知県の東の中心に位置する安芸市は、全国でも有数のナス生産地ですが、労働力不足は農家にとって大きな問題のひとつです。

安芸福祉保健所では、長期間家庭に引きこもっている方の社会復帰を支援しています。平成26年に担当者が支援している方が、家の裏庭で丁寧に畑の世話をしている姿を目にし、農家に紹介したところ、「とてもまじめに働いてくれる」と農家から評価が高かったことから、自然と農福連携に取り組むことに繋がりました。



(ハウス内での農作業風景)

その後、引きこもり・発達障害・生活困窮者と様々な方を農家に紹介していきました。

- 農家は作業の指示はできるが、障害に関する知識や対処法を知らない。
- 福祉保健所は障害についての知識はあるが、農業に関する知識が少ない。

こういったそれぞれの足りないところをフォローし合い、障害者の目線に合わせた地道な活動を続ける中で、JA土佐あき（当時）と福祉保健所との関係を深めるため平成30年に「市農福連携研究会」が立ち上げられ、関係機関同士の連携が始まりました。

NPO法人日高わのわ会（日高村）

日高村の「NPO法人日高わのわ会」は、地域の困りごとを解決するコミュニティービジネスの中で、福祉サービス事業所も運営しています。平成19年より障害者の農作業への人材提供に取り組んでおり、個々の特性に応じて作業の斡旋をしています。



(日高わのわ会、人気の高い加工商品)

雇用形態としては、施設外就労としてはほ場で作業してもらったり、農家の繁忙期のみ手伝うケースや、雇用を前提に実習するケース、パート扱いで雇用する等、様々な形態があります。

例えば、施設外就労の際は、農家と事業所が話しあって賃金・時間・期間等を決め、ほ場で複数人の障害者と指導員がセットで働いています。トマトの下葉除去作業の一例では、葉の枚数ではなく、紐を掛けてそれより下を除去してもらうなど、農家独自の工夫をしています。



(作業風景)

高知県安芸福祉保健所
TEL: 0887-34-3177

日高わのわ会 TEL: 0889-24-4004
<http://www.wanowa-hidaka.com/>



意見交換会の様子



フランス商談会

中国四国農政局高知県拠点では、2月4日、北川村のゆず農家・関係機関の方々と意見交換会を行いました。

県東部に位置する北川村では、古くからゆず栽培が盛んで、最近ではEU等への輸出に取り組んでいます。

当日は、農林水産省輸出促進課長も参加し、実際に「ゆず輸出」に取り組んでいる中での具体的な問題点等についての発言があり、活発な意見交換会となりました。

「平成31年春の農作業安全確認運動」を実施します。

毎年300件以上発生している農作業死亡事故を減少させるため、農林水産省は、3月から5月までを農作業安全対策の重点期間として、平成31年春の農作業安全確認運動を実施します。

運動の展開方向として、農作業安全確認運動が全国で一体となって推進されるよう、重点推進テーマを設定し、運動の浸透・充実を図ります。

平成31年の運動については、GAP（農業生産工程管理）の周知を通じた現場の改善活動、農業者への安全確保の声かけ・注意喚起等の農作業事故防止対策の取り組みを推進します。



（農作業安全ステッカー）

▶ 重点推進テーマ

まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全

★詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/sizai/190122.html>